

だい かい にほんご
第8回アンコールワット日本語コンクール

ろうどくぶもん ろうどくげきぶもん せんこうかだい
朗読部門 朗読劇部門 選考課題

《こころはっぱ パート1》

こころはっぱと いう きを しって いますか。

こころはっぱの きは、みんなの こころの こえが きこえます。

たのしいと、あかるい いろの はっぱ、かなしいと、さみしい
いろの はっぱに なる ふしぎな きなのです。

ある ひ、こころはっぱの きの うえで、うさぎちゃんが
いいました。

「あれ、はじめて みる いのししくんが きたわ。」

たぬきくんと きつねくんも、いいます。

「ひっこして きたんだね、きっと。」

「おおきいなあ。なんだか つよそうだなあ。」

うさぎちゃんは、

「ちょっと こわそうねえ。」

と みみを ぴくぴく うごかしました。

いのししくんは、こころはっぱの きの したに くると
たちどまりました。そして、ぼそり ぼそり、こう いったのです。

「ああ、ともだち、ほしいなあ。

どうしたら…、ぼく…、ともだち、できるのかなあ…。」

こころはっぱの きの はっぱが、さあっと さみしい いろに
かわりました。

《こころはっぱ パート2》

たぬきくん、きつねくん、うさぎちゃんは、かおを
みあわせました。

「ともだちが ほしいんだって。」

「さみしそうだね、いのししくん。」

さんびきは、きの うえから こえを そろえて いいました。

「ともだちに なって。」

いのししくんは、びっくり。

「ひえっ、なんだあ、だれだあ。」

さんびきは、するるんと きから おりて きました。

「いっしょに あそぼう、いのししくん。」

いのししくんは、どっすん どっすん とびはねました。

ぱあっ。こころはっぱの きの はっぱは、いろが また
かわりました。あか、きいろ、みどり、いろとりどりの とても
きれいな はっぱが ひらひらと まいました。

たぬきくんと きつねくんが おおきな こえで いいました。

「あっ、こころはっぱの きが、みんなで あそぼうって。」

「わーい、わーい。」

「あはははは！」

たぬきくん、きつねくん、うさぎちゃんに、いのししくんは、
かぜに のって とんで いく こころはっぱを、わらって わらって
おいかけました。